

競技注意事項

1. 本大会に適用する規則は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項を適用する。

2. 練習について

(1)練習は、補助競技場を使用する。

ただし、投てき競技については、危険防止上、招集完了後主競技場で役員の指示により行う。

(2)練習は、危険防止に特に留意し、必ず係員の指示に従うこと。

(3)感染症対策のためスタンド下の雨天走路は使用できません。

3. スパイクシューズについて

(1)競技場は全天候舗装のため使用するスパイクの長さは9mm以下とする。

ただし、走高跳およびやり投は12mm以下とする。

4. 招集について

(1)招集所は、第4コーナー西側マラソングート外側(補助競技場との通路付近)に設ける。

(2)招集時間は、次の通りとする。

	招集開始	招集終了
トラック競技	30分前	20分前
跳躍競技	50分前	40分前
投てき競技	50分前	40分前

(3)招集完了時刻の5分前に招集所に入り最終点呼を受ける。

その際、役員にアスリートビブス・スパイクの長さおよび、バック等の商標のチェックを受けた後、競技者係の指示に従う。

(4)招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を棄権したもものとして処理する。

(5)代理人による最終点呼は、認めない。

ただし、他の種目に出場している等、特別の理由がある場合は、本人又は代理人がその旨を競技者係主任に申し出ること。

(6)リレー競技のオーダーは、**招集開始60分前**までに招集所にオーダー用紙を記入後1部提出する。

(用紙はプログラム巻末に添付。)

5. アスリートビブス(ナンバーカード)について

(1)アスリートビブスは、交付された大きさのままで明瞭に見えるよう、ユニフォームの上部につける。

トラック競技に出場する競技者は、招集所で配布された腰ビブス(腰ナンバーカード)を右腰につける。

6. 走路順、試技順および番組編成について

(1)トラック競技予選の走路順およびフィールド競技の試技順は、プログラム記載のレーン順、試技順に行う。

(2)準決勝・決勝の組み合わせおよび走路順は、主催者が公平に決定し、その結果を競技者招集所および記録掲示板に掲示する。

(3)タイムによる「+α」のある競技種目は、100分の1秒単位を用いて決定する。

同記録が多数出た場合は、第167条2による。

写真を拡大して優劣を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は、抽選をする。

7. 走高跳・棒高跳について

(1)バーの上げかたは、次のとおりとする。(天候等により審判長の判断で変更する場合がある。)

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9
走高跳(男子)	1m80	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m15	+3cm
	2m00									
走高跳(女子)	1m45	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	+3cm
	1m70									
棒高跳(男子)	4m30	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	4m60	4m70	-	-
	4m60									
棒高跳(女子)	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	-	-	-	-
	3m50									

(2)第1位の決定のためのバーの上げ・下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

(3)棒高跳の支柱移動の希望は、跳躍審判主任に申し出る。

8. 三段跳踏切板の位置について

(1)男子:12m00、女子:10m00とする。

9. 競技用具(靴・衣類・器具)について

(1) シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)

本大会は、WA規則第 143 条(TR 5)の改定ルールを適用する。※詳細は日本陸連HP参照

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>

(2) 衣類の広告に関する規定については、日本陸連の「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。

(3) 競技器具は、競技場備付けのものを使用する。

ただし、棒高跳用ポール、投てき器具(砲丸・円盤・やり・ハンマー)は、各人所有のものを検査の上使用する。

投てき器具の検査は、各種目競技1時間前までに招集所で行い、検査品の器具については、招集所預りとする。

棒高跳ポールは、跳躍場で跳躍審判が随時検査を行う。

(4) リレー競技の第2走者以後のマーカ―は、主催者の用意したものを使用する。

10. 給水について

(1) 5000m以上のトラック競技においては、気象条件により、審判長の判断で給水を実施する。

11. その他

(1) IDコントロールを実施するため、配布したIDカードは常に携帯する。

※チーム関係者IDは、選手IDと同様に体調チェックシート提出を必要とする。

(2) 監督会議は「3密」を回避するため中止とする。HPの大会情報に掲載の「競技注意事項」を必読し、問い合わせは事前に大会事務局に連絡すること。

(3) 表彰は各種目決勝終了後、ただちに表彰式を行うので3位までの入賞者は速やかに玄関ホールに集合すること。

(各種目とも、3位まで賞状と副賞を授与する。)

(4) 団体総合および優秀選手の表彰は、全競技終了後に行う。

(総合得点で同点が生じた場合は優勝種目数の多算による。)

なお、優勝種目同数の場合は第2位、第3位の数により以下これに準ずる。)

(5) エントリー後に棄権する場合は、競技開始宣言終了時までに必ずプログラムに添付してある棄権届を大会本部に提出すること。

(6) 男子10000Wについては、50分を過ぎた場合、競技運営上、次の周回を中止することがある。

(7) 男女共に、10000Wについては、58分を過ぎて新たな周回には入れない。

(8) 今大会の記録証明書が必要な選手は、記録室で発行するので記録主任に申し出ること。(有料500円)